

被災地に帽子贈る

福岡のシルバー
人材センター

福岡市シルバー人材センター東支部（東区筥松）の有志が、東日本震災で被害を受けた宮城県気仙沼市の被災者向けに帽子やマフラーを作った。15日、同市のシルバー人材センターへ発送する。

同支部の手芸サークル「ひまわり会」のメンバー10人。今月初めから、花柄やチェック柄などのフリース生地を使い、帽子とマフラー、きんちゃくを計100セット作った。「頑張ってください」「応援しています」などの寄せ書きも添えた。

気仙沼市の食品会社が東区に営業所を置いており、同支部はこの会社に多いときで10〜16人の会員を派遣し、海産物の仕分け作業などをしてきた。震災後、仕入れができなくなったため、会員の派遣は休止状態だが、同市の被災者を元気づけたいと、帽子などの寄贈を思い立った。

メンバーの合屋マツエさん(78)は「復興を願い、一針一針、心を込めて縫いました。温まってもらえたらうれしい」と話していた。



帽子やマフラーを作った
手芸サークルのメンバー